

## 果樹の生育状況と当面の技術対策

3月及び4月中旬の気温が高く経過したため、生育は平年よりかなり早く進んでいます。

降霜等により、りんごやおとうらの花に障害がみられるので、園地の状況を確認し、適正な栽培管理に努めてください。霜害を受けやすい時期なので、引き続き霜害防止対策に万全を期してください。

### I 生育状況

#### 1 りんご

「ふじ」の開花日は、三戸町梅内で平年より7日早く、八戸市櫛引で8日早かった。

表1 りんごの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	ふじ	本年	3/29	4/6	4/28		
		平年	4/6	4/16	5/5	5/10	5/15
		前年	3/29	4/10	5/7	5/10	5/15
		平年差	-8	-10	-7		
	つがる	本年	3/28	4/8	4/28		
		平年	4/5	4/18	5/5	5/10	5/16
		前年	3/29	4/13	5/7	5/10	5/17
		平年差	-8	-10	-7		
	ジョナゴールド	本年	3/28	4/5	4/27		
		平年	4/4	4/15	5/4	5/10	5/16
		前年	3/28	4/7	5/6	5/9	5/17
		平年差	-7	-10	-7		
八戸市 櫛引	ふじ	本年	3/29	4/9	4/29		
		平年	4/7	4/19	5/7	5/12	5/17
		前年	3/30	4/14	5/7	5/10	5/14
		平年差	-9	-10	-8		

※平年値：2001～2020年の20年間平均

## 2 おうとう

「佐藤錦」の満開日は、南部町高瀬で平年より5日早く、八戸市南郷で7日早かった。

表2 おうとうの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	開花日	満開日	落花日
南部町 高瀬	佐藤錦	本年	4/13	4/21	4/25	
		平年	4/19	4/27	4/30	5/11
		前年	4/24	5/1	5/3	5/14
		平年差	-6	-6	-5	
八戸市 南郷大森	佐藤錦	本年	4/15	4/24	4/28	
		平年	4/23	5/2	5/5	5/14
		前年	4/26	5/3	5/4	5/12
		平年差	-8	-8	-7	

※平年値：南部町高瀬 2013～2020年の8年間平均、八戸市南郷 2001～2020年の20年間平均

## 3 もも

「川中島白桃」の満開日は、南部町相内で平年より5日早かった。

表3 ももの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	開花日	満開日	落花日
南部町 相内	川中島 白桃	本年	4/3	4/21	4/26	
		平年	4/8	4/27	5/1	5/9
		前年	4/10	4/30	5/2	5/10
		平年差	-5	-6	-5	

※平年値：2001～2020年の20年間平均

## 4 西洋なし

「ゼネラル・レクラーク」の満開日は、南部町大向で平年より7日早かった。

表4 西洋なしの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
南部町 大向	ゼネラル・レクラーク	本年	3/31	4/22	4/27	4/28	
		平年	4/7	4/26	5/3	5/5	5/11
		前年	4/3	4/27	5/2	5/4	5/10
		平年差	-7	-4	-6	-7	

※平年値：2001～2020年の20年間平均

## 5 すもも

「大石早生」の落花日は、三戸町梅内で平年より6日早かった。

表5 すももの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	大石早生	本年	3/27	4/17	4/17	4/19	4/28
		平年	4/1	4/25	4/25	4/27	5/4
		前年	3/27	4/25	4/24	4/27	5/6
		平年差	-5	-8	-8	-8	-6

※平年値：2001～2020年の20年間平均

## 6 うめ

「豊後」の落花日は、南部町高瀬で平年より6日早かった。

表6 うめの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	開花日	満開日	落花日
南部町 高瀬	豊後	本年	3/13	4/12	4/14	4/21
		平年	3/22	4/17	4/21	4/27
		前年	3/12	4/12	4/19	4/30
		平年差	-9	-5	-7	-6

※平年値：2008～2020年の13年間平均

## 7 ぶどう

露地栽培「キャンベル・アーリー」の発芽日は、三戸町梅内で平年より8日早かった。  
ハウス栽培「キャンベル・アーリー」の展葉日は、三戸町梅内で平年より2日遅かった。

表7 ぶどうの生育ステージ

調査地点	品種	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	キャンベル・ アーリー (露地)	本年	4/17				
		平年	4/25	5/7	6/13	6/16	6/20
		前年	4/23	5/7	6/13	6/16	6/21
		平年差	-8				
	キャンベル・ アーリー (ハウス)	本年	4/2	4/16			
		平年	4/4	4/14	5/14	5/16	5/20
		前年	4/5	4/24	5/19	5/21	5/25
		平年差	-2	2			

※平年値：2001～2020年の20年間平均

※キャンベル・アーリー（ハウス）のビニール被覆：3/19（平年：3/15、前年3/18）

## II 当面の技術対策

### 1 霜害防止対策（各樹種共通）

気象情報に注意し、降霜のおそれのある場合は、防霜ファンや燃焼法等による対策を行う。なお、燃焼法を実施する場合は、事前に所轄の消防署に届出が必要である。

### 2 りんご

#### (1) 授粉

結実確保のため積極的に人手授粉を行う。貯蔵花粉がない場合は、開花の早い品種の花粉を利用し、授粉予定日の2日以前に風船状から開花直後の花を採集する。めしべの受精能力は、開花後4～5日間あるので、降雨で葯が褐変した花でも授粉する。

なお、降霜により花に障害がみられる場合、おしべに障害がみられても、めしべが正常か多少の被害であれば結実が期待できるので障害の程度を確かめて授粉する。

#### (2) 摘花

中心花のめしべが褐変している花そうが多い場合は、一つ成り摘花を控え、腋芽花（新梢花）や不要な花そうを摘む程度にとどめる。

#### (3) 摘果

中心果に障害がみられる場合は、一つ成り摘果は実立ち（結実）を確認してから行う。中心果だけで結実量を確保できない園地では、生育の良好な側果を残すようにする。

#### (4) 黒星病対策

「ふじの落花20日後頃」までは降雨とともに子のう胞子が多く飛散するので、油断することなく、薬剤散布は10日間隔を遵守し、散布ムラがないように基準量を丁寧に散布する。なお、散布予定日に降雨が見込まれる場合は、事前散布に徹する。

葉の病斑の初発は、例年では5月中旬頃である。葉や果実、つる（果梗）に病斑がみられたら、見つけ次第摘み取って土中に埋めるなど処分する。

#### (5) 輪紋病対策

昨年は、輪紋病の果実被害が多かったので、伝染源となる主幹や主枝などのいぼ状の病患部とその下の褐変組織は削り取って塗布剤を塗る。削り取りができない細い枝は切り取る。

### 3 おうとう

#### (1) 授粉

障害花が目立つ場合は、生育の遅い花や下向きの花、樹幹上部の花ほど被害が少ないので、これらの花を重点的に授粉し、結実を確保する。なお、めしべが褐変したり欠落した花でも、開花時に花粉がでている場合は、授粉用に用いることができる。

#### (2) 摘果

摘果は結実を見極めてから行う。

## 4 もも

### (1) 授粉

花粉が少ない川中島白桃などの品種では、毛ばたきや梵天、花粉交配機による人手授粉を行い、結実を確保する。

### (2) せん孔細菌病対策

近年、せん孔細菌病の発生が多い傾向にあるので、春型枝病斑の切除を徹底する。春型枝病斑は、4月から見え始め、開花以降も発生が続くので、定期的に園地を見回り、見つけ次第切除する。特に、発芽や展葉の遅れている枝、幼果が枯れ込んでいる枝等に注意して見逃さないようにする。切除した枝は園地に放置せず、持ち出して処分する。

## 5 西洋なし

### (1) 授粉

開花期間中の天候が不順な場合や霜害を受けた園地では、結実確保のため人手授粉を行う。その際、果形の揃いや品質がよい2～4番花に授粉する。

### (2) 摘果

受精が不完全な果実は、落花5日後ころから果柄が黄化し始めるので、予備摘果は落花5日後ころから開始し、2～4番果のうち肥大の良いものを1果残す。

なお、霜害を受けた園地では、結実を見極めてから摘果作業を進める。

### (3) 輪紋病対策

昨年は収穫期に樹上で果実被害がみられたので、菌密度の増加が懸念される。伝染源となる枝幹部のいぼ病斑を胞子の飛散が始まる5月下旬までに削り取って塗布剤を塗布する。

## 6 すもも

### (1) 摘果

降霜の影響が懸念される場合は、予備摘果は結実を見極めてから実施する。

### (2) 黒斑病対策

昨年、黒斑病の発生が多かった園地では、伝染源となる春型枝病斑を見つけ次第切り取って処分する。

## 7 うめ

園地の結実状況を見極めたうえで着果過多の場合は、収穫期に果実が互いに触れ合わない程度の間隔に摘果する。

## 8 ぶどう

養分の競合や新梢の過繁茂を防ぐため、摘芽や摘梢を行う。樹勢に応じて2～3回に分けて行い、花穂の発育の良い中庸な新梢を残す。なお、霜害のおそれのある場所では、晩霜がなくなってから最終本数を決める。